

《屋内》

【主体】既存の取組

【主体】新たな取組

【府】広報やセミナーによる注意喚起

→ 暑さ対策リーフレット作成・配布、教育者等を対象とした暑さ対策セミナーの開催 等

【府・民】民間事業者との連携による啓発活動

→ 熱中症セミナーの実施、みどりのカーテンづくりの取組み 等

【市町村】広報誌等による注意喚起

【府】体育館、支援学校特別教室等の空調設備整備

【府】建築物への取組み

→ ヒートアイランド対策の評価が高い建築物への表彰

【市町村】小中学校の空調設備の整備

【府・市町村】緑化・緑陰形成

【府・民】民間事業者（金融機関、薬局等）の施設を暑さをしのげる一時避難所として登録

【市町村】一時避難所（公共施設）の拡充

【府】都市緑化を活用した猛暑対策

（森林環境税を活用）

→ 駅前広場など屋外公共空間の暑熱環境を改善するため、市町村や公共交通事業者等を支援

<暑熱環境改善効果> 【出典】環境省「まちなかの暑さガイドライン改訂版」平成30年3月
緑陰・日除け＋地表面・壁面の冷却＋微細ミストの設置等、複合的な対策を組み合わせる実施した場合の目安

	周辺気温	体感温度	暑さ指数(WBGT)
対策前	30℃	40℃	嚴重警戒レベル(28~31℃未満)
対策後	30℃ (局所的には低下)	30℃	注意レベル(21~25℃未満)

《屋外》

【府】クールスポット100選、クールロード100選

(府民が選んだ涼しく感じる場所[山や公園、水辺など])

→ 身近なクールスポットの活用促進

【府】啓発イベントの実施

→ クールスポット等を活用した暑さ対策を学ぶイベントの実施

【府】暑さ指数*(WBGT)の活用促進

→ メール受信登録の周知、
全府立学校への暑さ指数*(WBGT)計の配備

* 暑さ指数(℃)
気温だけではなく、湿度、輻射熱を考慮した熱中症予防のための数値

【府・市町村】打ち水の普及促進

《環境整備》

猛暑対策の効果

- 熱中症予報等の情報提供や予防に関する知識の普及による**熱中症対策の意識向上**を喚起
- 街路樹の整備による日射の遮蔽や、建物や敷地、道路におけるミスト散布や散水など、**暑熱環境がもたらす熱ストレスの影響を軽減**

《普及啓発》